

# 山の

# 花

コマクサ *Dicentra peregrina*

イワヒゲ *Cassiope lycopodioides*

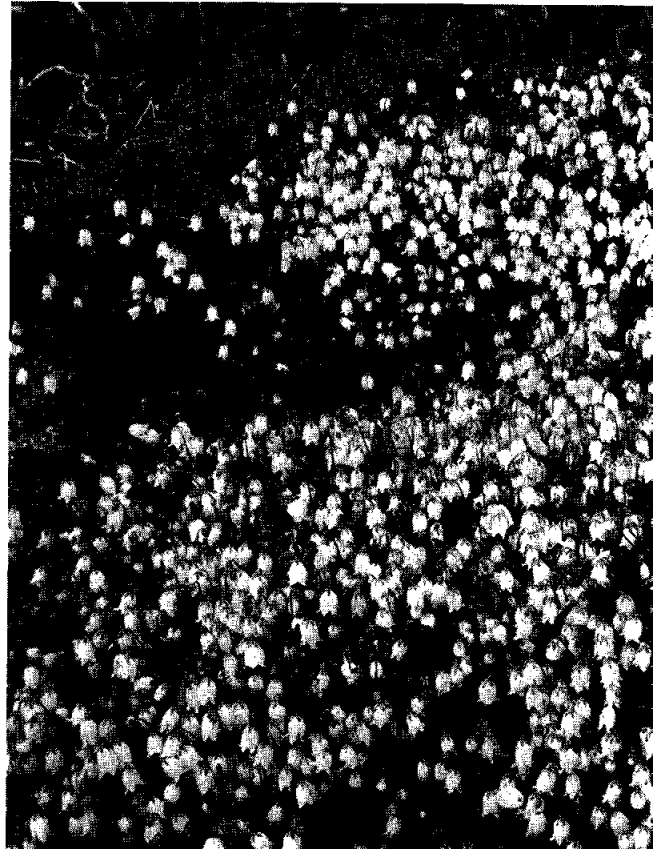
## 大雪の花によせて

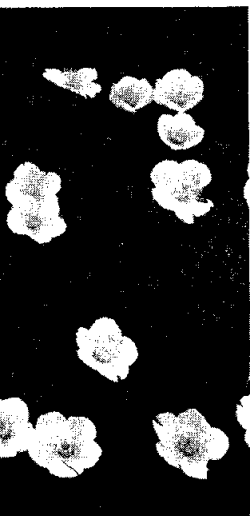
大雪の自然が、恵み多いその豊かな自然が、いま壊されようとしている。破壊は点として出発し線にのび、線は面となって拡げられていく。いいよのない憤りと、無限の悲しみをもって、ただ見守っているだけでいいのだろうか？

豊かな自然は豊かであるがゆえに壊れやすく、壊れたものは決してもとへもどらない。地球が生まれてから、營々と築きあげてきたその気も遠くなる長い時間を思うとき、人間という傲慢な生物の気ままなふる舞いに抵抗を感じる…… 神聖であるべき大地、大洋、大空、そのすべてにたいし暴挙の限りをつくしているのはどうしたことか…… 彼らはいま持っているその足もとがくずれかけているのを知らない…… 破壊が人間そのものに挑みかかっているのを知ろうとしない…… なんとという無知…… なんとという愚かさ……

恵まれたこの美しい自然を、子孫に大いなる遺産として、残すことこそ人間の破滅を救えるものであらうに……

(林業試験場北海道支場)





*Geum pentapetalum*

ミヤマリンドウ *Gentiana nipponica*

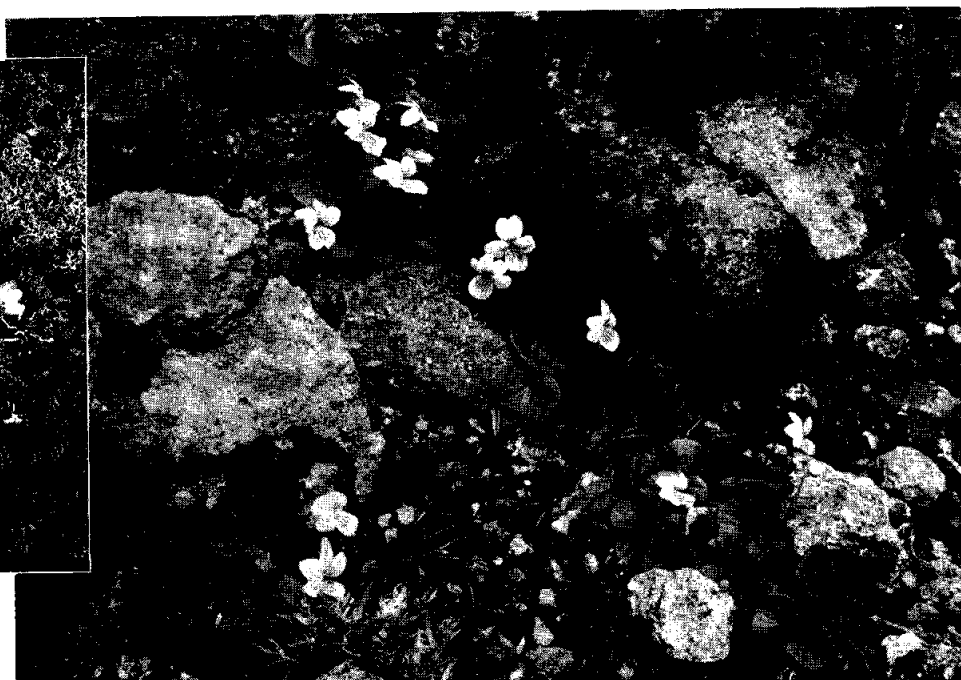


*Minuartia hondoensis*

タカネスミレ *Viola crassa*



*Dryas octopetala var. asiatica*





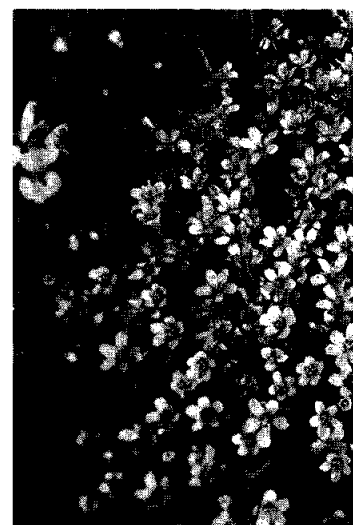
イワブクロ *Pentstemon frutescens*



チングルマ



ホンザウルップソウ *Lagotis stelleri var. yesoensis*



タカネツメクサ



チョウノスケソウ



アオノツガザクラ

*Prinosyce alantica*



キバナシオガマ

*Pedicularis oederi*



キバナシヤクナゲ

*Rhododendron auranti*